

令和5年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	
設立年月日	昭和56年11月2日	
団体の設立目的・沿革	市民、事業者と行政の連帯と協力のもとに、中高年齢者に好適な職種、事業の調査及び開発、勤労者を対象とする生涯教育事業の実施、中高年齢者の福祉の増進に関する事業並びに高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）に基づくシルバー人材センターに関する事業等を行い、もって高齢社会における勤労者をはじめとする市民の福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	シルバー人材センター事業	経済観光局経済政策課
	勤労者福祉共済事業	自主事業
代表者	理事長 中塚 弘明	

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		8	8
神戸市派遣職員	1	1	-	-		3	5
神戸市OB職員	1	-	-	-	2		3
その他	-	13	-	2	43	-	58
合 計	2	14	-	2	45	11	74

財務状況（単位：百万円）	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	2	▲ 22	24
当期正味財産増減額	▲ 13	▲ 22	9
流動資産	329	343	▲ 14
流動負債	159	177	▲ 18
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	140	183	▲ 43

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	勤労者福祉共済事業及びシルバー人材センター事業を通じた市民・市内事業者への貢献
ミッション②	健全な財政基盤の確保
ミッション③	財団固有職員の業務遂行能力とマネジメント能力の向上

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	勤労者福祉共済制度（ハッピーパック）の強化
ミッション②	シルバー人材センター事業の強化
ミッション③	人材育成基本計画に基づく取り組みの強化

■経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.386	▲0.233	0.2ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	13.33%	12.79%	▲0.5ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲1.38%	0.13%	1.5ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	764.21%	679.72%	▲84.5ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	194.29%	207.15%	12.9ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	88.78%	89.63%	0.8ポイント
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	▲1.56%	▲0.90%	0.7ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲1.56%	▲0.90%	0.7ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和5年度			令和6年度			令和7年度～							
中長期的ミッション															
勤労者福祉共済事業及びシルバー人材センター事業を通じた市民・市内事業者への貢献	(ハッピーバック) ・ アンケート結果に基づくサービスのリニューアル ・ 決済キャッシュレス化やWEB申込機能の準備	・ アンケート結果に基づくサービスのリニューアル ・ 決済キャッシュレス化やWEB申込機能の実施			・ アンケート結果に基づくサービスのリニューアル ・ 決済キャッシュレス化やWEB申込機能の拡充										
	(シルバー人材センター) ・ 新規の就業機会づくりを通じて市内の労働力提供と健康増進・介護予防に貢献（フレイル予防に役立つ就業開発：短時間で安全な就業、ワークシェアリングの推進等） ・ WEBを活用した情報提供・ペーパーレス化の推進	・ 前年度の取組み検証 ・ 検証をふまえた取組の実施 ・ 市施策との連携調整・実施			・ 前年度の取組み検証 ・ 検証をふまえた取組の実施 ・ 市施策との連携調整・実施										
健全な財政基盤の確保	(ハッピーバック) ・ 加入促進業務等の再構築（手法・体制等） ・ サービスのリニューアル（再掲） ・ 利便性向上に向けたシステム更新の準備（再掲）	・ 新たな加入促進業務等の実施 ・ サービスのリニューアル（再掲） ・ 利便性向上に向けたシステム更新実施（再掲）			・ 加入促進業務等の検証及び見直し ・ サービスのリニューアル（再掲） ・ 利便性向上に向けたシステムの拡充（再掲）										
	(シルバー人材センター) ・ 「いつでも、どこでも、早く、簡単に」入会できるWEB入会の継続 ・ WEBを活用した情報提供・ペーパーレス化の推進（再掲） ・ 新規の就業機会づくり（再掲） ・ 技能講習等を通じたリスキリング（会員の意識・能力向上）の実施 ・ 法令を遵守した適正就業の推進と継続検証の実施 ※インボイス制度：国や他都市の動向も踏まえ市と連携して対応	・ 前年度の取組み検証 ・ 検証をふまえた取組の実施 ・ 市施策との連携調整・実施			・ 前年度の取組み検証 ・ 検証をふまえた取組の実施 ・ 市施策との連携調整・実施										
財団固有職員の業務遂行能力とマネジメント能力の向上	・ 意欲、能力向上に向けた研修等の実施			・ 意欲、能力向上に向けた研修等の実施			・ 意欲、能力向上に向けた研修等の実施								
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
短期的ミッション															
勤労者福祉共済制度（ハッピーバック）の強化	新サービスの事務手続き等の検討			PR			実施								
	加入資格を拡大した対象事業所の会員確保														
シルバー人材センター事業の強化	会員確保、就業開拓、安全就業、適正就業等の推進と検証、市施策との連携実施														
人材育成基本計画に基づく取り組みの強化	意欲、能力向上に向けた研修等の実施														

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	1. 次世代に向けた組織の再構築 (財団の安定的な運営) 2. 社会的ニーズの多様化に対応したサービスの向上 (勤労者福祉共済事業) 3. 生き生き就業の支援 (シルバー人材センター事業)
	(1) 財団固有職員を中心とした組織の確立 (人材育成基本計画に基づいた研修等の実施)	
	(2) デジタル化に対応したIT・ICT化の推進	
	(3) 総務事務システムの構築など可能な分野へのシステムの導入による事務の効率化	
	(4) 従来から提供している地域密着型サービス充実への取組強化及び加入資格拡大に伴う加入促進 (KPI 新規会員数500人) (勤労者福祉共済事業)	
	(5) アンケート結果に基づいた新たな会員ニーズに適応したサービスの提供 (勤労者福祉共済事業)	
	(6) 決済のキャッシュレス化、各種申請のWEB申込機能の拡充などICT化の推進 (6年度システム更新) (勤労者福祉共済事業)	
	(7) 新規会員の確保 (KPI 新規会員数1,500人) と会員の意識・能力の向上 (シルバー人材センター事業)	
	(8) 安全就業の環境づくりと適正就業の推進 (シルバー人材センター事業)	
	(9) 神戸市との連携 (市内中小企業等の振興・高齢者の就業促進及び健康寿命の延伸)	

■ 市支援策の活用状況 (令和5年度)

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

・アンケート結果に基づき、要望が多かった「インフルエンザ予防接種助成」を開始した。（ハッピーパック）
・新たにキャッシュレス決済を導入するための準備を進めた。（ハッピーパック）
・システム更新に向けた改修計画（R6～R8）を策定するとともに、インフルエンザ予防接種助成においてWEB申込を導入した。（ハッピーパック）
・既存発注者への営業や、ハローワークと連携したシニア求人情報の提供、新規就業開拓営業チームの設置など新規の就業機会づくりに努めた。（シルバー人材センター）
・令和5年6月に会員向けWEBサイト「Smile to Smile」を開設し、スマホから就業情報などを閲覧可能とした。（令和6年9月登録者3,111人）（シルバー人材センター）
・年々高齢化する会員が事故を回避できるよう、刈払機使用講習会や派遣会員向け安全就業研修会を開催するなど、リスクリングを通じて更なる安全就業を推進した。（シルバー人材センター）
・健全な財政基盤確保の観点から、令和5年10月より請負事業における発注者の事務費率を7%から14%に改定した。（シルバー人材センター）
・人材育成基本計画に基づき、オンライン研修を積極的に活用するなど、固有職員の更なる人材育成に取り組んだ。さらに、市に準じた人事評価制度を導入し、職員とのコミュニケーションの確保を図った。

（2）短期的ミッションの達成状況

・アンケート結果に基づき、要望が多かった「インフルエンザ予防接種助成」を開始した。申込みは、WEBからも受け付けるなど、利用者の利便性向上を図った。（ハッピーパック）（再掲）
・パンフレットを新調するなどの加入促進活動の推進により、目標値を上回る会員の入会を達成した。（KPI新規会員数：500人 →令和5年度実績：866人）（ハッピーパック）
・オンライン入会を継続して推進したほか、ハローワーク等で出張説明会を開催、新規に会員が計1,150人入会した。（シルバー人材センター）
・新規就業開拓営業チームを設置し、高齢者に適した就業開拓を行い、令和5年度においては50,310千円を受注した。（シルバー人材センター）
・安全就業の推進に努め、事故件数が45件（昨年度比▲21件）に減少した。（シルバー人材センター）
・市がシニア向けに発信したい情報を、会報紙に掲載するなど会員に広く情報提供し、フレイル予防等市民の健康づくりに寄与した。（シルバー人材センター）
・人材育成基本計画に基づき、オンライン研修を積極的に活用するなど、固有職員の更なる人材育成に取り組んだ。さらに、市に準じた人事評価制度を導入し、職員とのコミュニケーションの確保を図った。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

・ハッピーパックでは、中小企業でも加入しやすい会費設定とニーズに沿ったサービスで従業員への福利厚生提供と企業の雇用確保に寄与した。 （令和5年度未会員数：2,290社、43,635人）
・シルバー人材センターでは、高齢者への就業機会の提供を通じて、生きがいづくりや健康維持、企業等への労働力の供給に寄与した。 （令和5年度未会員数6,565人、契約金額2,724百万円、就業延人員533千人、契約件数8,254件）

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

勤労者福祉共済事業では、会員のニーズに応えた新たな福利厚生サービスの提供に取り組んだ。一方、シルバー人材センター事業では、依然として会員数や契約件数等の減少が課題である。公益財団法人神戸市産業振興財団との統合に向けた検討に際しては、両事業のミッションや団体目標の達成に資するよう、統合効果を活かす手法を検討すること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	シルバー人材センター事業については、健全な財政基盤の確保のため、人員体制の見直しや事務費率の改定に取り組んだ一方、依然として会員数や契約金額・件数の減少が大きな課題となっている。効果的な就業の開拓および会員の就業率向上の手法について検討すること。
短期的ミッション	勤労者福祉共済事業については、令和4年度に実施したアンケート結果に基づき「インフルエンザ予防接種助成」を開始し、福利厚生サービスの向上に努めた。引き続き、サービスの拡充と利便性の向上に取り組むこと。
団体目標の達成状況	シルバー人材センター事業におけるKPI（新規会員数1,500人）が未達成であるため、さらなる会員目線に立ったサービス向上や神戸市の高齢者就労支援事業との連携強化に努め、新規会員の獲得へ繋げること。
市への貢献・市民への還元状況	引き続き、市内中小企業に対する福利厚生の提供及び市内高齢者の就業機会の確保等への寄与に期待する。

(3) 今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体